

# 令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	427 農業推進事業									
戦略プラン					担当部課	経済部農業政策課				
総合戦略					係名	農業政策係				
					新規・継続	継続				
予算科目	01-060102-11 農業推進等に要する経費				事業分類	<input type="checkbox"/> 共有、理解				
要求区分		事業期間				<input type="checkbox"/> 企画・立案、計画				
個別計画	つくば市農業基本計画				市民参加	<input type="checkbox"/> 実行				
						<input type="checkbox"/> 評価・検証				
根拠法令	つくば市農業推進委員設置規則				事業体制	一部委託				
					市長公約					
概要										
事業の目的					事業の概要					
農家と行政をつなぐパイプ役となる農業推進委員を委嘱し、地域農業の振興を図る。					<ul style="list-style-type: none"> <li>農業推進委員を通じて、農業に関する情報を農家に提供するなど地域農業の振興を図る。</li> <li>農業推進委員任期：2年</li> <li>推進委員数：356名</li> </ul>					
評価										
事業計画					活動実績					
<ul style="list-style-type: none"> <li>農業推進委員総会を年1回開催する。</li> <li>農業推進委員を通じて、農業政策における各種支援制度の情報提供や取りまとめを行う。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>農業推進委員総会開催日 6月1日 参加人数：180人</li> <li>「ドローンの農業活用」の講話</li> <li>農業者への情報提供等の周知回覧依頼（4回）以下、配布</li> <li>カバークロップの種子配布のお知らせ</li> <li>葉刈り芝回収のお知らせ</li> <li>芝の焼却に関する注意喚起など</li> </ul>					
成果					課題					
農業推進委員を通じての情報提供を行ったことにより、市内の農家へ周知等が円滑に行う事ができた。					<ul style="list-style-type: none"> <li>農業推進委員の負担を軽減するため、事務を効率的に行う必要がある。</li> <li>各地区の班員（農家）を把握する必要がある。</li> </ul>					
改善目標（R02年度にむけて）										
<ul style="list-style-type: none"> <li>配布依頼する文書等について、できる限りとりまとめ、効率的に情報提供を行う。</li> <li>各地区の班員、数の情報を取りまとめていく。</li> </ul>										
指標の推移										
1	指標名	農家への情報提供回数					( 回 )		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0		
	実績	3.0	3.0	4.0	4.0	4.0	4.0	0.0		
	指標の概要									
2	指標名						( )			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	9,571	11,008	14,439	0
事業費計		(千円)	9,571	11,008	14,439	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.90	0.80		
		時間外勤務 (時間)	40.00	40.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	6,452	5,526		
事業コスト		(千円)	16,023	16,534		

R02年度当初積算根拠	報酬	8,096千円
	報償費	182千円
	旅費	618千円
	需用費	194千円
	役務費	185千円
	委託費	4,484千円
	負担金補助及び交付金	680千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

# 令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報									
事務事業名	428 融資対策事業								
戦略プラン					担当部課 係名	経済部農業政策課 農業政策係			
総合戦略					新規・継続	継続			
					事業分類	法定事務			
予算科目	01-060102-11 農業推進等に要する経費				市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解			
要求区分		事業期間		<input type="checkbox"/> 企画・立案、計画					
個別計画				<input type="checkbox"/> 実行					
				<input type="checkbox"/> 評価・検証					
根拠法令	農業近代化資金融通法				事業体制	職員のみ			
					市長公約				
概要									
事業の目的					事業の概要				
効率的かつ安定的な農業経営を営むために必要な、農業用機械等の購入や施設の改善などを目的に、農業近代化資金や農業経営基盤強化資金の融資を受けた経営体を支援する。					<ul style="list-style-type: none"> <li>農業近代化資金を借り入れた経営体に対し、2%以内で利子の一部を助成する。</li> <li>農業経営基盤強化資金を借り入れた経営体に対し1%を超える分の利子を助成する。(うち1/2県補)</li> </ul>				
評価									
事業計画					活動実績				
<ul style="list-style-type: none"> <li>農業近代化資金、農業経営基盤強化資金を金融機関から借り入れた経営体に対し、借入金利子の一部を助成する。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>農業近代化資金利子補助金 (6件 160千円)</li> <li>農業経営基盤強化資金利子助成金 (5件 174千円)</li> <li>農協系統農業災害資金利子助成金 (8件 22千円)</li> </ul>				
成果					課題				
<p>農業者の負担軽減と農業経営の安定化に寄与した。 災害にあった農業者に対し、災害資金の利子を助成することができた。</p>					<p>融資を必要とする農業者に対し、補助制度等の周知方法を検討する必要がある。</p>				
改善目標 (R02年度にむけて)									
市ホームページや農業推進委員等を活用するなど農業者に対する周知方法を改善する。									
指標の推移									
1	指標名	農業近代化資金利子助成件数 (件)						活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	
	目標値	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0	
	実績	12.0	11.0	10.0	8.0	7.0	6.0	0.0	
	指標の概要								
2	指標名	農業経営基盤強化資金利子助成補助件数 (件)						活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	
	目標値	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	
	実績	16.0	14.0	14.0	8.0	5.0	5.0	0.0	
	指標の概要								

	指標の概要							
3	指標名	農業系統農業災害資金利子助成件数 ( 件 )					活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0
	実績	8.0	8.0	8.0	1.0	3.0	8.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	108	87	158	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	333	268	698	0
事業費計		(千円)	441	355	856	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.50	1.00		
		時間外勤務 (時間)	8.00	8.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	3,549	6,803		
事業コスト		(千円)	3,990	7,158		

R02年度当初積算根拠	①農業近代化資金利子補給
	・借入残高 33,399千円(7件) 利子助成額=225千円
	・新規借入 20,000千円(2件)×1.2%(利率) =240千円 【計】465千円
	②農業経営基盤強化資金(スーパーL)利子助成 ※うち1/2を県が負担
・借入残高 81,052千円(5件) 利子助成額=216千円	
・新規借入 50,000千円(2件)×0.2%(利率-1.0%) =100千円 【計】316千円	
③農協系統農業災害資金利子助成補助金	
・借入残高 9,770千円(5件) 利子助成額=25千円	
・新規借入 20,000千円(10件)×0.25%(利率) =50千円 【計】75千円	

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	4 十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	3 法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	40	0	0	0
	一般財源	(千円)	1,346	647	1,495	0
事業費計		(千円)	1,386	647	1,495	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.60	0.80		
		時間外勤務 (時間)	100.00	100.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	4,484	5,674		
事業コスト		(千円)	5,870	6,321		

R02年度当初積算根拠	・報償費	624千円
	・需用費	134千円
	・委託料	281千円
	・使用料及び賃借料	456千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	3	法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について		
優先度	-	法令等により、市の実施が定められている。又は、今年度で事業が終了する。
事業の優先度はどうか		

# 令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	430 6次産業化支援事業									
戦略プラン					担当部課 係名	経済部農業政策課 農業政策係				
総合戦略	I	2	(1)	魅力ある農業形態の構築	新規・継続	継続				
					事業分類	任意的事務				
予算科目	01-060106-13 地産地消推進に要する経費				市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解				
要求区分	事業期間					<input type="checkbox"/> 企画・立案、計画				
個別計画	つくば市農業基本計画					<input type="checkbox"/> 実行				
根拠法令						<input type="checkbox"/> 評価・検証				
					事業体制	一部委託				
					市長公約					
概要										
事業の目的					事業の概要					
つくばの農産物を使った加工品開発など6次産業化に意欲的に取り組む農業者を支援し、農業所得の向上や地域の活性化を図る。					・6次産業化に取り組む農業者の掘り起こしを行いながら、その取組みに対する支援を行う。					
評価										
事業計画					活動実績					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・プチマルシェ等イベントへの出展を支援</li> <li>・商談会等の情報を発信</li> <li>・6次産業化セミナー等を実施し、新規希望者の掘り起こしを行う。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・プチマルシェ等へのイベント出店に関する情報発信を実施</li> <li>・商談会や補助金等に関する情報発信を実施。</li> <li>・6次産業化セミナーを実施 11月21日実施 16人参加</li> <li>・6次産業化推進戦略の策定</li> <li>・6次産業化希望者との個別相談 3件 (内、総合化事業計画2件認定)</li> </ul>					
成果					課題					
希望者に対して計画的な6次産業化のためのサポートを行い、総合化事業計画認定を受けることができた。					・売れる商品の開発計画や販路の確保等、新規に6次産業化品を作るだけでなく出口まで考えた計画性のある商品開発への支援。					
改善目標（R02年度にむけて）										
<ul style="list-style-type: none"> <li>・魅力ある売れる商品開発及び販売力の強化に向けて、関係機関との連携・情報共有体制を整える。</li> <li>・引き続き6次産業化に関する情報の発信を行う。</li> </ul>										
指標の推移										
1	指標名	新商品開発数					(商品)		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0		
	実績	3.0	2.0	0.0	1.0	1.0	1.0	0.0		
	指標の概要	新たな地域農産物を使った加工品が開発された。								
2	指標名						( )			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	0	327	0	0
事業費計		(千円)	0	327	0	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.00	0.80		
		時間外勤務 (時間)	0.00	40.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	0	5,526		
事業コスト		(千円)	0	5,853		

R02年度当初積算根拠	0	
-------------	---	--

予算の方向性	理由	令和2年度から地産地消推進事業に統合する。
廃止		

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	2	計画から遅れている。(未達成)
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	3	法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		





	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	703	221	626	0
事業費計		(千円)	703	221	626	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.40	0.80		
		時間外勤務 (時間)	0.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	2,823	5,427		
事業コスト		(千円)	3,526	5,648		

R02年度当初積算根拠	報償費	408千円
	需用費	98千円
	使用料及び賃借料	120千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	5	当初の計画を上回る進捗で事業を実施することができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	871	1,200	2,400	2,400
事業費計		(千円)	871	1,200	2,400	2,400
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.30	0.30		
		時間外勤務 (時間)	10.00	10.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	2,143	2,060		
事業コスト		(千円)	3,014	3,260		

R02年度当初積算根拠	①資材経費補助 150,000円/10a×80a=1,200,000円					
	②苗木購入補助 1,500円/1本×200本/10a×80a×1/2=1,200,000円					
※果樹の種類はブルーベリーとワイン用ぶどうを対象とする。						

予算の方向性	理由	ワイン用ぶどうの申請の増加に対応するため。
拡充		

方向性		
市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	5	当初の計画を上回る進捗で事業を実施することができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移

項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	91	91	210	0
事業費計		(千円)	91	91	210	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.20	0.20		
		時間外勤務 (時間)	2.00	2.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	1,417	1,362		
事業コスト		(千円)	1,508	1,453		

R02年度当初積算根拠	連絡会開催時における委員15名への報償費 (県職員、研究者は無償) $7,000円 \times 15名 \times 2回 = 210,000円$					
-------------	---	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由	委員を増員するため。
拡充		

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

# 令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	437 儲かる産地支援事業（旧：いばらきの園芸産地改革支援事業）									
戦略プラン					担当部課 係名	経済部農業政策課 営農林務係				
総合戦略					新規・継続	継続				
					事業分類	任意的事務				
予算科目	01-060106-12 園芸振興に要する経費				市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解				
要求区分		事業期間				<input type="checkbox"/> 企画・立案、計画				
個別計画	つくば市農業基本計画						<input type="checkbox"/> 実行			
根拠法令					事業体制	補助金（間接）				
					市長公約					
概要										
事業の目的					事業の概要					
消費者や実需者のニーズに対応した高品質な農産物を安定的に供給するために必要な機械・施設の導入、コスト低減や作業省力化のための高性能機械等の導入を支援し、競争力の強い園芸産地の育成を図る。					・高品質な農産物を安定的に供給するために必要な機械・施設の導入、コスト低減や作業省力化のための高性能機械等の導入にかかる事業費の1/3以内を補助する。					
評価										
事業計画					活動実績					
・機械や施設の導入に対し補助する。					農業者からの申請がなかったため、R1年度は実績なし。					
成果 実績なし					課題 —					
改善目標（R02年度にむけて） —										
指標の推移										
1	指標名	補助件数					( 件 )		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	2.0	1.0	2.0	0.0	0.0	0.0		
	指標の概要									
2	指標名						( )			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移							
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)	
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0	
	県支出金	(千円)	0	0	0	0	
	地方債	(千円)	0	0	0	0	
	その他	(千円)	0	0	0	0	
	一般財源	(千円)	0	0	0	0	
事業費計		(千円)	0	0	0	0	
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.00	0.00			
		時間外勤務 (時間)	0.00	0.00			
	臨時職員等	(有無)	無	無			
人件費		(千円)	0	0			
事業コスト		(千円)	0	0			

R02年度当初積算根拠	要望があったときに予算化する。						
-------------	-----------------	--	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由
休止	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	3	法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		





	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	14,020	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	0	0	0	0
事業費計		(千円)	14,020	0	0	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.10	0.00		
		時間外勤務 (時間)	20.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	756	0		
事業コスト		(千円)	14,776	0		

R02年度当初積算根拠	要望があった場合に予算化する。					
-------------	-----------------	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由
休止	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	3	法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移

項目			平成30年度	令和 1年度	令和 2年度	令和 3年度
			(決算)	(決算)	(当初)	(当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	9,690	2,100	5,750	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	4,942	6,244	7,252	0
	一般財源	(千円)	0	-4,302	0	0
事業費計		(千円)	14,632	4,042	13,002	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.90	0.50		
		時間外勤務 (時間)	200.00	100.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	6,849	3,639		
事業コスト		(千円)	21,481	7,681		

R02年度当初積算根拠	・報酬	5,578千円
	・職員手当等	666千円
	・旅費	336千円
	・需用費	351千円
	・役務費	321千円
	・負担金補助及び交付金	5,750千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	3	法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

# 令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	442 茨城農業改革推進総合対策事業									
戦略プラン					担当部課 係名	経済部農業政策課 営農林務係				
総合戦略					新規・継続	継続				
					事業分類	任意的事務				
予算科目	01-060109-11 水田農業構造改革推進に要する経費									
要求区分		事業期間			市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証				
個別計画										
根拠法令					事業体制	補助金（間接）				
					市長公約					
概要										
事業の目的					事業の概要					
生産者自らが取り組む生産コストの低減や消費者ニーズに対応した産地づくりに必要な施設整備や機械購入に助成し、特徴ある産地を形成し農業者の所得向上と安定を図る。					<ul style="list-style-type: none"> <li>環境に配慮した米づくりや、高品質米生産に貢献する機械等、及び新規需要米の集出荷に必要な設備や、生産コスト削減に必要な機械等の整備にかかる費用に対し、補助金を交付する。</li> <li>県補助事業で補助率1/3以内、残りは事業者負担となる。</li> </ul>					
評価										
事業計画					活動実績					
<ul style="list-style-type: none"> <li>農業者から補助事業の要望があった場合は、速やかに県南農林事務所と調整を行い、茨城県に対して補助金を要望する。</li> </ul>					農業者からの申請がなかったため、R1年度実績はなし。					
成果 実績なし					課題 —					
改善目標（R02年度にむけて） —										
指標の推移										
1	指標名	補助金交付団体数					( 団体 )		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
	実績	1.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	指標の概要									
2	指標名						( )			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移							
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)	
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0	
	県支出金	(千円)	0	0	0	0	
	地方債	(千円)	0	0	0	0	
	その他	(千円)	0	0	0	0	
	一般財源	(千円)	0	0	0	0	
事業費計		(千円)	0	0	0	0	
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.20	0.00			
		時間外勤務 (時間)	10.00	0.00			
	臨時職員等	(有無)	無	無			
人件費		(千円)	1,437	0			
事業コスト		(千円)	1,437	0			

R02年度当初積算根拠							
-------------	--	--	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由	儲かる産地支援事業に集約したため。
終了		

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	14,694	14,220	15,000	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	0	0	0	0
事業費計		(千円)	14,694	14,220	15,000	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.20	0.20		
		時間外勤務 (時間)	30.00	30.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	1,487	1,431		
事業コスト		(千円)	16,181	15,651		

R02年度当初積算根拠	・会員報酬	51千円
	・共済費	2,193千円
	・賃金	7,071千円
	・需用費	1,471千円
	・役務費	1,173千円
	・委託料	572千円
	・使用料及び賃借料	2,469千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		



# 令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報								
事務事業名	449 造林事業							
戦略プラン					担当部課 係名	経済部農業政策課 営農林務係		
総合戦略					新規・継続	継続		
					事業分類	任意的事務		
予算科目	01-060201-12 森林保全に要する経費				市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解		
要求区分		事業期間		<input type="checkbox"/> 企画・立案、計画				
個別計画				<input type="checkbox"/> 実行				
				<input type="checkbox"/> 評価・検証				
根拠法令					事業体制	補助金（直接）		
					市長公約			
概要								
事業の目的				事業の概要				
森林資源の充実と活力ある健全な森林を造成する。 森林の公益的機能と適正な森林環境を確保する。				<ul style="list-style-type: none"> <li>・造林用苗木の斡旋</li> <li>・県補助事業の申請及び推進</li> <li>・造林を推進する広報活動(市報・HP等)</li> </ul>				
評価								
事業計画				活動実績				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・500㎡以上の山林に500㎡当たり75本以上植林した造林事業者に対し補助を行う。</li> <li>・造林のための植林や保育のための下刈り、枝打ち、間伐等に対し、県補助金の交付を行う。（5年間）</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・造林補助事業 0ha ※要件を満たした造林事業者がいなかった。</li> <li>・保育事業補助 3.16ha（下刈り）</li> </ul>				
成果				課題				
下刈り等の保育事業への補助により、これまでに植林した山林の生育の促進ができた。				新規植林の実施に寄与できるよう、事業内容について簡潔で理解しやすい広報をしていく必要がある。				
改善目標（R02年度にむけて）								
事業の応募前（3月）に広報つくば及び市ホームページに掲載する内容を精査するとともに、チラシやSNSなどの利用可能な媒体を活用し、植林希望者が増えるよう広報をしていく。								
指標の推移								
1	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
2	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	0	0	0	0
事業費計		(千円)	0	0	0	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.10	0.20		
		時間外勤務 (時間)	0.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	706	1,412		
事業コスト		(千円)	706	1,412		

R02年度当初積算根拠	県からの補助金を市の歳計外収入で処理し、申請者に交付する。					
-------------	-------------------------------	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の実施計画を達成した。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	85	46	0	0
	一般財源	(千円)	37,073	21,276	14,442	0
事業費計		(千円)	37,158	21,322	14,442	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.40	0.40		
		時間外勤務 (時間)	80.00	80.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	3,022	2,911		
事業コスト		(千円)	40,180	24,233		

R02年度当初積算根拠	需用費	2,238千円
	役務費	374千円
	委託料	5,808千円
	使用料及び賃借料	4,317千円
	備品購入費	1,705千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	198,372	198,719	191,014	0
事業費計		(千円)	198,372	198,719	191,014	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.30	0.30		
		時間外勤務 (時間)	10.00	10.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	2,143	2,060		
事業コスト		(千円)	200,515	200,779		

R02年度当初積算根拠	転作助成金 (個人)	185,199千円
	集落営農団地化助成金 (集落)	5,815千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	3,618	3,918	4,650	0
事業費計		(千円)	3,618	3,918	4,650	0
人件費内訳	正職員	従事割合	(人)	0.10	0.10	
		時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	706	679		
事業コスト		(千円)	4,324	4,597		

R02年度当初積算根拠	病虫害防除薬剤購入費補助金 4,650千円					
-------------	-----------------------	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		



# 令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報								
事務事業名	991 家畜伝染病予防事業							
戦略プラン					担当部課 係名	経済部農業政策課 営農林務係		
総合戦略					新規・継続	継続		
					事業分類	法定＋任意		
予算科目	01-060104-11 畜産振興に要する経費				市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解		
要求区分		事業期間				<input type="checkbox"/> 企画・立案、計画		
個別計画	つくば市特定家畜伝染病防疫対応マニュアル					<input type="checkbox"/> 実行		
根拠法令	家畜伝染病予防法				事業体制	職員のみ		
					市長公約			
概要								
事業の目的				事業の概要				
伝染病予防の啓発及び衛生薬剤の使用を推進し、畜産経営の安定を図る。				<ul style="list-style-type: none"> <li>家畜伝染病予防法に基づく法定伝染病の検査等を実施し、市内農家に対して伝染病予防の啓発及び衛生薬剤の使用の推進を図る。</li> </ul> ※検査の種類 腐蛆病・結核病・ブルセラ病・ヨーネ病・馬伝染性貧血				
評価								
事業計画				活動実績				
<ul style="list-style-type: none"> <li>家畜伝染病予防法に基づく法定伝染病の検査等 4月、5月：蜜蜂腐蛆病検査予定</li> <li>茨城県が行う机上訓練及び実施訓練に参加する。</li> <li>防疫マニュアルに基づく訓練内容を確認する。</li> <li>新型インフルエンザ対応訓練に合わせた事前訓練ができないか、庁内検討を行う。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>家畜伝染病予防法に基づく法定伝染病の検査等 検査の種類：腐蛆病検査278群、馬伝染性貧血検査3頭 検査日：（蜜蜂）4月12日、16日、23日 （馬）5月27日、11月13日</li> <li>机上訓練：6月12日 土浦合同庁舎</li> <li>実施訓練：10月11日 石岡市八郷総合運動公園</li> <li>CSF（豚熱）ウイルスの防止のため、アフリカ豚コレラ侵入防止緊急支援事業を新設</li> </ul>				
成果				課題				
県や畜産農家と連携し、各家畜伝染病予防検査を実施することで、伝染病蔓延防止に寄与することができた。				万が一家畜伝染病が発生した場合の市の対応及び国・県からの指示に即座に対応するため、県南家畜保健衛生所主催の特定家畜伝染病防疫演習を市内施設で行えるよう県と調整を行う必要がある。				
改善目標（R02年度にむけて）								
つくば市特定家畜伝染病防疫対応マニュアルで対応可能か検証するため、県南家畜保健衛生所主催の特定家畜伝染病防疫演習を市内施設で行えるよう県と調整する。								
指標の推移								
1	指標名	家畜の検査実施数 (群)					活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	350.0	350.0	350.0	350.0	350.0	350.0	350.0
	実績	383.0	401.0	332.0	275.0	283.0	278.0	0.0
	指標の概要	ミツバチ腐蛆病検査実施件数（毎年実施）						
2	指標名	家畜の検査実施数 (頭)					活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	150.0	150.0	150.0	150.0	150.0	150.0	150.0
	実績	141.0	4.0	3.0	162.0	0.0	3.0	0.0

	指標の概要	馬伝染病検査実施件数（希望者のみ）						
3	指標名	家畜の検査実施数（頭）					活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	400.0	0.0	0.0	400.0	400.0
	実績	1.0	0.0	396.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	牛ヨーネ病・牛結核病・牛ブルセラ病検査実施数（4年に一度）						
4	指標名							
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名							
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和1年度 (決算)	令和2年度 (当初)	令和3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	8	3	33	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	80	32	333	0
	一般財源	(千円)	757	824	808	0
事業費計		(千円)	845	859	1,174	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.20	0.20		
		時間外勤務 (時間)	0.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	1,412	1,357		
事業コスト		(千円)	2,257	2,216		

R02年度当初積算根拠	需用費	事務用消耗品20千円 現場作業用消耗品20千円（防護服、マスク等）
	役務費内訳	家畜伝染病予防検査手数料334千円 蜜蜂腐蛆病検査 300群×100円=30,000円 蜜蜂腐蛆病検査証明 5件×230円=1,150円 馬伝染性貧血検査（証明手数料含）20頭×1,530円=30,600円 ヨーネ病検査（乳用牛、肉用牛、証明手数料含）160頭×1,230円=196,800円 白血病検査（肉用牛、証明手数料含）60頭×1,250円=75,000円 つくば市農業振興事業費補助金（家畜伝染病予防事業補助金） 家畜畜産物衛生指導事業補助金800千円 （事業費約1,200千円に対して、800千円（事業費の2/3）を上限に補助）

予算の方向性	理由	4年に一度行われるヨーネ病及び白血病検査が該当する年度のため。
拡充		

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	120	120	149	0
事業費計		(千円)	120	120	149	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.40	0.20		
		時間外勤務 (時間)	10.00	10.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	2,848	1,382		
事業コスト		(千円)	2,968	1,502		

R02年度当初積算根拠	報償費	茨城県種豚共進会出品奨励金24千円 (8頭×3,000円) 県南肉用牛枝肉共励会出品奨励金80千円 (16頭×5,000円)				
	負担金	茨城県畜産協会負担金45千円				

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	835	935	2,226	0
事業費計		(千円)	835	935	2,226	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.30	0.30		
		時間外勤務 (時間)	10.00	20.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	2,143	2,085		
事業コスト		(千円)	2,978	3,020		

R02年度当初積算根拠	事務用消耗品一式 5,000円×1					
	現場作業用消耗品一式 8,000円×1					
	環境保全事業に要する経費 254,000円×1					
	使用済農業用ビニール収集処理負担金 (市負担金) 25,000kg×1.86円×1.1					
	使用済農業用ビニール収集処理負担金 (農家負担金市補助相当) 25,000kg×20円					
	使用済農業用ポリエチレン収集処理負担金 (市負担金) 50,000kg×1.95円×1.1					
使用済農業用ポリエチレン収集処理負担金 (農家負担金市補助相当) 50,000kg×20円						
300,000円×1団体						

予算の方向性	理由	運搬費及び処理費の高騰分を市で一部負担し、農家負担金の急激な上昇を抑制するため。
拡充		

方向性		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

# 令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報											
事務事業名	444 環境にやさしい農業推進事業										
戦略プラン	Ⅲ	2	2	資源の保全・活用			担当部課	経済部農業政策課			
総合戦略	I	2	(1)	魅力ある農業形態の構築			係名	営農林務係			
							新規・継続	継続			
予算科目	01-060109-12			環境にやさしい農業推進に要する経費						事業分類	任意的事務
要求区分				事業期間			市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証			
個別計画	つくば市農業基本計画										
根拠法令							事業体制	補助金（直接）			
							市長公約				
概要											
事業の目的					事業の概要						
被覆植物を作付けすることにより畑からの土埃や表土流出を防止、また、化学肥料や化学合成農薬を低減することにより環境保全型農業を推進する。					<ul style="list-style-type: none"> <li>・カバークロープ事業 冬場の作付けされていない農地からの土ぼこりと表土流出を防止するため、申請者に対して緑肥としてすき込みができる被覆植物の種子を無料配布</li> <li>・環境保全型農業直接支払交付金 農業者等が地球温暖化防止等を目的に、農地土壌への炭素貯留に効果の高い営農活動や生物多様性保全に効果の高い営農活動の推進を図る。</li> <li>・有機資材購入費補助事業 特別栽培農産物及び有機JAS認証者に対して、有機肥料の助成措置を行う。</li> </ul>						
評価											
事業計画					活動実績						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・カバークロープ事業 ハゼリソウ（510kg）、ヘアリーベッチ（1,700kg）の購入、配布</li> <li>・環境保全型農業直接支払交付金 申請団体数：5団体、予算：2,000千円（2,500a分）</li> <li>・有機資材購入費補助事業 農作物に応じて10a当たり1,000円から10,000円の補助 予算：4,000千円</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・カバークロープ事業 ハゼリソウ481kg、ヘアリーベッチ949kgを配布</li> <li>・環境保全型農業直接支払交付金 2団体に979,360円（1,258a分）を交付</li> <li>・有機資材購入費補助事業 9団体に3,312,000円（21,825a分）を交付</li> </ul>						
成果					課題						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・カバークロープ事業を通して、畑からの土埃や表土流出を防止できた。</li> <li>・2つの補助金を通して、化学肥料や化学合成農薬を低減することにより、環境保全型農業を推進できた。</li> </ul>					環境保全型農業直接支払交付金について、R2年度は国や県の要項等の改訂年度のため、様式等が変更となることから改訂される交付要件や様式について情報収集し、対応する必要がある。						
改善目標（R02年度にむけて）											
環境保全型農業直接支払交付金について、新しい要項等に関する情報を収集し、要件や様式について、申請希望者に情報提供を行う。											
指標の推移											
1	指標名	カバークロープ補助対象面積（ha）					活動指標				
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度			
	目標値	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	50.0			
	実績	95.0	101.8	92.9	67.6	48.0	47.7	0.0			
	指標の概要										
2	指標名	環境保全型農業直接支払交付金補助対象面積（ha）					活動指標				
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度			
	目標値	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	15.0			
	実績	15.9	71.5	17.7	25.0	13.2	12.6	0.0			

	指標の概要							
3	指標名	有機資材費補助金補助対象面積 ( ha )					活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	250.0	250.0	250.0	250.0	250.0	250.0	150.0
	実績	229.7	255.7	236.1	229.7	208.8	218.3	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移							
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)	
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0	
	県支出金	(千円)	757	734	1,575	0	
	地方債	(千円)	0	0	0	0	
	その他	(千円)	0	0	0	0	
	一般財源	(千円)	4,828	5,007	5,075	0	
事業費計		(千円)	5,585	5,741	6,650	0	
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.50	0.50			
		時間外勤務 (時間)	48.00	48.00			
	臨時職員等	(有無)	無	無			
人件費		(千円)	3,649	3,511			
事業コスト		(千円)	9,234	9,252			

R02年度当初積算根拠	カバークロープ 1,287千円						
	チラシ印刷費 99千円						
	有機資材 3,164千円						
	環境保全型農業直接支払交付金 2,100千円 国費：1,500a×7,000円/10a 県費：1,500a×3,500円/10a 市費：1,500a×3,500円/10a						

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		



# 令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報								
事務事業名	445 つくば市特産農産物廃棄物適正処理推進事業							
戦略プラン	Ⅲ	2	2	資源の保全・活用	担当部課 係名	経済部農業政策課 営農林務係		
総合戦略	I	2	(1)	魅力ある農業形態の構築	新規・継続	継続		
					事業分類	任意的事務		
予算科目	01-060109-12 環境にやさしい農業推進に要する経費				市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解		
要求区分	事業期間					<input type="checkbox"/> 企画・立案、計画		
個別計画						<input type="checkbox"/> 実行		
根拠法令					事業体制	全て委託		
					市長公約			
概要								
事業の目的				事業の概要				
葉刈り芝を適正に処理し、周辺の生活環境に配慮した農業の推進を図るため。				<ul style="list-style-type: none"> <li>・葉刈り芝の適正処理を行うにあたり、専用袋での回収、ストックヤードでの回収及びたい肥化の促進のために発酵促進剤と消石灰の配布を行う。</li> </ul>				
評価								
事業計画				活動実績				
<b>【ストックヤード】</b> 葉刈り芝のストックヤードの整備を行う。 <b>【芝回収】</b> 6月から10月まで計18回の回収を行う。 <b>【たい肥化】</b> 葉刈り芝のたい肥化を促進するために、発酵促進剤と消石灰の配布を行う。				<b>【ストックヤード】</b> 2か所で実施し、合計で68回、41,340kgの回収 <b>【芝回収】</b> 5か所で実施し、合計で3回、670kgの回収 <b>【たい肥化】</b> 1件の申請に対し、発酵促進剤と消石灰を各2袋提供				
成果				課題				
葉刈り芝を適正に処理し、野焼き防止に寄与した。				<ul style="list-style-type: none"> <li>・ストックヤード事業を令和元年度まで委託していた業者が令和2年度は事業実施が困難となったため、新たな委託先を検討する必要がある。</li> <li>・葉刈り芝の野焼き抑制のため新たなストックヤードの確保が必要。</li> <li>・たい肥化事業は申請件数が極端に少ない。</li> </ul>				
改善目標（R02年度にむけて）								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・委託先や契約方法を検討し、ストックヤード事業を継続できるよう調整する。</li> <li>・葉刈り芝の野焼き抑制のため、新たなストックヤード設置について調整を行う。</li> <li>・たい肥化事業について、チラシ、HP等を活用しさらなる周知を行う。</li> </ul>								
指標の推移								
1	指標名	回収事業における回収量 ( kg )					活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	2,500.0	2,500.0	2,500.0	2,500.0	2,500.0	2,500.0	0.0
	実績	2,110.0	2,160.0	4,370.0	3,270.0	7,970.0	670.0	0.0
	指標の概要	ストックヤード事業開始に伴い、回収事業における回収量が激減したため、R2からは回収事業を行わない。						
2	指標名	ストックヤード事業における回収量 ( kg )					活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5,000.0	40,000.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	4,260.0	41,340.0	0.0

	指標の概要	H30：今鹿島のみ、R1：今鹿島、酒丸で実施						
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	38	0	0	0
	一般財源	(千円)	823	2,049	4,142	0
事業費計		(千円)	861	2,049	4,142	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.20	0.20		
		時間外勤務 (時間)	5.00	5.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	1,425	1,370		
事業コスト		(千円)	2,286	3,419		

R02年度当初積算根拠	チラシ用紙代 1,300円×10×1.1=14,300円 発酵促進剤 5,000円×20個×1.1=110,000円 消石灰 650円×20個×1.1=14,300円 チラシ印刷費 13円×12,000枚×1.1=171,600円  ストックヤード事業 3,676,640円 1,000kg×24週×20円/kg×4ヶ所×1.1=2,112,000円(回収費) 4,000円×24週×1.5回×4ヶ所×1.1=633,600円(運搬料) 600円×186日×4ヶ所×1.1=491,040円(コンテナ管理費) 100,000円×4ヶ所×1.1=440,000円(鉄板設置費)  土地賃借料(5,100円/㎡×2.5%)×300㎡×4ヶ所=153,000円

予算の方向性	理由	ストックヤードを増設するため。
拡充		

方向性		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	600	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	2	2	2	0
	一般財源	(千円)	6,142	7,671	10,362	0
事業費計		(千円)	6,144	7,673	10,964	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.50	0.50		
		時間外勤務 (時間)	10.00	10.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	3,554	3,417		
事業コスト		(千円)	9,698	11,090		

R02年度当初積算根拠	需用費	計 74千円					
	役務費	計 5千円					
	委託料	計 6,825千円					
		林道整備(除草等)委託料	6,825千円	工事請負費	計 4,000千円		
		工事請負費	計4,000千円				
		林道補修工事	2,500千円 (500,000円×5箇所)				
		林道改良舗装事業	1,500千円 (沼田新田酒寄線)				
	原材料費	計 60千円					
		林道・保全林補修原材料費	60千円 (道路補修材料	20,000円×3箇所)			

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	3	法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について		
優先度	-	法令等により、市の実施が定められている。又は、今年度で事業が終了する。
事業の優先度はどうか		

# 令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	447 身近なみどり整備推進事業									
戦略プラン	Ⅲ	2	2	資源の保全・活用			担当部課 係名	経済部農業政策課 営農林務係		
総合戦略							新規・継続	継続		
							事業分類	任意的事務		
予算科目	01-060201-12 森林保全に要する経費									
要求区分				事業期間			市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解		
個別計画								<input type="checkbox"/> 企画・立案、計画	<input type="checkbox"/> 実行	
根拠法令							事業体制	全て委託		
							市長公約			
概要										
事業の目的					事業の概要					
森林の公益的機能や健全な森林環境を確保し、地域の生活環境や美しい景観づくりを行うため。					・森林所有者から整備要望のあった荒廃した山林について、市が下刈り、除伐などの整備を行い、施業後10年間は市と森林所有者との協定に基づき、森林所有者が維持管理を行う。					
評価										
事業計画					活動実績					
<ul style="list-style-type: none"> <li>森林保全協定件数：30件</li> <li>森林保全協定面積：20ha</li> <li>森林保全整備面積：20ha</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>森林保全協定件数：19件</li> <li>森林保全協定面積：9.35ha</li> <li>森林保全整備面積：9.35ha</li> </ul>					
成果					課題					
森林保全協定により森林の整備を実施したことにより、地域の景観や健全な森林環境の向上に成果を上げた。					<ul style="list-style-type: none"> <li>協定期間中に、所有者による適正な管理が行われていない森林が見受けられることから、事業実施後の所有者による適正な保全管理の周知徹底が必要である。</li> <li>県の身近なみどり整備推進事業がR2年度で終了する見込みであるため、森林環境譲与税を活用した後継事業の実施を計画する必要がある。</li> </ul>					
改善目標（R02年度にむけて）										
<ul style="list-style-type: none"> <li>事業実施済の森林の保全管理状況の確認を強化し、保全管理が行き届いていない場合には森林所有者に対し適正な保全管理を行うように指導する。</li> <li>森林環境譲与税を活用した後継事業について、県の事業実施要項等を参考にして、市の事業要項の策定を行うとともにR3年度予算を確保する。</li> </ul>										
指標の推移										
1	指標名	森林保全協定締結数					( 件 )		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	30.0	30.0	30.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	27.0	19.0	0.0		
	指標の概要									
2	指標名						( )			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	12,665	9,046	24,000	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	1,296	1,650	2,517	0
事業費計		(千円)	13,961	10,696	26,517	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.60	0.60		
		時間外勤務 (時間)	80.00	10.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	4,434	4,095		
事業コスト		(千円)	18,395	14,791		

R02年度当初積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近なみどり整備推進事業委託料 24,000千円 (森林整備 1,200,000円×20ha) ※県補助金：10/10</li> <li>・身近なみどり整備推進事業調査委託料 2,517千円 (森林整備調査 114,400円×20ha×1.10) ※一般財源</li> </ul>					

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	3 今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	2 計画から遅れている。(未達成)
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	

# 令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報																																							
事務事業名	448 筑波山市有林整備事業																																						
戦略プラン	Ⅲ	2	2	資源の保全・活用			担当部課 係名	経済部農業政策課 営農林務係																															
総合戦略							新規・継続	継続																															
							事業分類	任意的事務																															
予算科目	01-060201-12			森林保全に要する経費																																			
要求区分		事業期間					市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証																															
個別計画	つくば市森林整備計画																																						
根拠法令	森林法						事業体制	一部委託																															
							市長公約																																
概要																																							
事業の目的					事業の概要																																		
健全な森林環境を維持し、森林の持つ公益的機能である地球温暖化防止、水源涵養などを促進するため。					<ul style="list-style-type: none"> <li>森林ボランティア団体との協働による保全管理を実施する。</li> <li>筑波山市有林保全活用指針に基づき、自然環境に対する保全と森林利用を増進する。</li> <li>業者委託による管理道の修繕を実施する。</li> </ul>																																		
評価																																							
事業計画					活動実績																																		
<ul style="list-style-type: none"> <li>筑波山市有林「四季の道」パンフレット、広報つくば及び市ホームページ等を活用し、森林ボランティア体験参加者を募集する。</li> <li>保全管理を森林ボランティア団体と協働で実施し、筑波山市有林保全活用指針に基づき、環境の保全と森林利用を促進する。</li> <li>森林ボランティア団体：約1.5ha</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>保全管理</li> <li>森林ボランティア団体：約1.3ha               <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>4月20日</td> <td>17名</td> <td>21日</td> <td>10名</td> <td>約0.4ha</td> </tr> <tr> <td>6月15日</td> <td>21名</td> <td>16日</td> <td>18名</td> <td>雨天研修</td> </tr> <tr> <td>8月18日</td> <td>16名</td> <td></td> <td></td> <td>約0.3ha</td> </tr> <tr> <td>10月19日</td> <td>15名</td> <td>20日</td> <td>14名</td> <td>雨天研修</td> </tr> <tr> <td>12月14日</td> <td>31名</td> <td>15日</td> <td>24名</td> <td>約0.6ha</td> </tr> <tr> <td>2月16日</td> <td>15名</td> <td></td> <td></td> <td>雨天研修</td> </tr> </table> </li> </ul>					4月20日	17名	21日	10名	約0.4ha	6月15日	21名	16日	18名	雨天研修	8月18日	16名			約0.3ha	10月19日	15名	20日	14名	雨天研修	12月14日	31名	15日	24名	約0.6ha	2月16日	15名			雨天研修
4月20日	17名	21日	10名	約0.4ha																																			
6月15日	21名	16日	18名	雨天研修																																			
8月18日	16名			約0.3ha																																			
10月19日	15名	20日	14名	雨天研修																																			
12月14日	31名	15日	24名	約0.6ha																																			
2月16日	15名			雨天研修																																			
成果					課題																																		
森林ボランティア団体などの市民協働による森林保全整備を実施し、健全な森林環境を維持することができた。					森林ボランティアでは対応できない老朽化やイノシシ被害による木柵や階段などの設備補修について、業者への委託や工事により対応する必要がある。																																		
改善目標（R02年度にむけて）																																							
森林ボランティアの活動の際の情報収集や定期的な見回を行い、イノシシによる掘り返し被害や設備の劣化を早期に把握し、業者により、適正な修繕を行う。																																							
指標の推移																																							
1	指標名	森林ボランティア活動回数					( 回 )		活動指標																														
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度																															
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	10.0	10.0																															
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	9.0	10.0	0.0																															
	指標の概要																																						
2	指標名						( )																																
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度																															
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0																															
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0																															

	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	65	52	0	0
	一般財源	(千円)	6,490	1,074	4,695	0
事業費計		(千円)	6,555	1,126	4,695	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.30	0.30		
		時間外勤務 (時間)	80.00	80.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	2,317	2,232		
事業コスト		(千円)	8,872	3,358		

R02年度当初積算根拠	需用費	計	809千円
	役務費	計	140千円
	委託料	計	1,635千円
	工事請負費	計	1,105千円
	負担金補助及び交付金	計	1,005千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		



# 令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報									
事務事業名	432 都市農村交流事業								
戦略プラン	IV	1	2	農業の振興	担当部課 係名	経済部農業政策課 農業政策係			
総合戦略					新規・継続	継続			
					事業分類	任意的事務			
予算科目	01-060103-13 都市農村交流推進に要する経費								
要求区分		事業期間			市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証			
個別計画	つくば市農業基本計画								
根拠法令					事業体制	一部委託			
					市長公約				
概要									
事業の目的					事業の概要				
農業体験イベントを通じた市民及び、首都圏沿線の都市住民と生産者の交流を通して、農業の活性化を図るため。					<ul style="list-style-type: none"> <li>市内及び、首都圏沿線の都市住民に、「農産物オーナー制度」や「農業サポーター制度」等を通じて農業に触れる機会を提供する。</li> <li>農業体験等のPRを実施する。</li> </ul>				
評価									
事業計画					活動実績				
<ul style="list-style-type: none"> <li>農産物オーナー制の実施</li> <li>農業サポーターの実施</li> <li>農業体験イベントの開催（既存の農業体験提供団体との協働含む）</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>農産物オーナー制募集農家数10、オーナー数418人</li> <li>農業サポーター登録数 40名</li> <li>農業体験イベント7回（102名参加）</li> <li>地域情報誌にオーナー制募集広告の掲載</li> <li>都市農村交流促進PR</li> </ul>				
成果					課題				
市内及び周辺市町村（土浦市、牛久市、龍ヶ崎市、守谷市、取手市、石岡市、かすみがうら市、常総市、つくばみらい市、下妻市、阿見町、美浦村等）住民へ交流PRを行うことで、農業に触れる機会を提供できた。					農業サポーター連絡用メールシステム改変に伴い再登録を行った結果、農業サポーター登録者数が減少したため、登録者を増やす取組みが必要である。				
改善目標（R02年度にむけて） 農業サポーター事業について、ホームページ等見直しを行い、多くの市民等にわかりやすく事業を周知していく。									
指標の推移									
1	指標名	都市農村交流イベント参加人数（人）						活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	
	目標値	200.0	300.0	400.0	500.0	600.0	600.0	600.0	
	実績	213.0	244.0	247.0	323.0	253.0	102.0	0.0	
	指標の概要	令和元年度はイベントが天候不良や不作により2件中止となったため大きく減少した。							
2	指標名	農産物オーナー制度参加人数（人）						活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	
	目標値	300.0	350.0	400.0	500.0	500.0	500.0	500.0	
	実績	530.0	566.0	493.0	334.0	314.0	418.0	0.0	

	指標の概要							
3	指標名	農業サポーター制度登録者数 ( 人 )					活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0	300.0	300.0
	実績	132.0	161.0	171.0	198.0	235.0	40.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移

項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	75	55	480	0
	一般財源	(千円)	792	511	1,118	0
事業費計		(千円)	867	566	1,598	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.80	0.80		
		時間外勤務 (時間)	10.00	10.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	5,671	5,452		
事業コスト		(千円)	6,538	6,018		

R02年度当初積算根拠	需用費	539千円
	役務費	336千円
	委託費	678千円
	使用料及び賃借料	15千円
	負担金及び交付金	30千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	3 今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	2,090	12,180	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	11,224	4,098	4,476	0
事業費計		(千円)	11,224	6,188	16,656	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.50	0.80		
		時間外勤務 (時間)	82.40	0.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	3,734	5,427		
事業コスト		(千円)	14,958	11,615		

R02年度当初積算根拠	報償費	125千円
	需用費	980千円
	役務費	30千円
	委託料	4,367千円
	使用料及び賃借料	154千円
	負担金補助及び交付金	11,000千円

予算の方向性	理由	6次産業化支援事業を統合する。
拡充		

方向性		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	5	当初の計画を上回る進捗で事業を実施することができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

# 令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	435 つくば芝振興対策事業									
戦略プラン	IV	1	2	農業の振興			担当部課 係名	経済部農業政策課 営農林務係		
総合戦略							新規・継続	継続		
							事業分類	任意的事務		
予算科目	01-060106-12 園芸振興に要する経費									
要求区分		事業期間					市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解		
個別計画	つくば市農業基本計画								<input type="checkbox"/> 企画・立案、計画	
根拠法令							事業体制	<input type="checkbox"/> 実行		
								市長公約	<input type="checkbox"/> 評価・検証	
							事業体制	補助金（直接）		
							市長公約			
概要										
事業の目的					事業の概要					
市内で生産されている在来芝及び茨城県が育成選抜した新品種を統一した販売戦略のもとで振興し、「つくば芝」のブランド化を図るため。					茨城県つくば芝振興協議会が行う栽培技術の講習会等の開催、校庭緑化等についての説明会、各種イベント等における芝のPRについて支援する。					
評価										
事業計画					活動実績					
<ul style="list-style-type: none"> <li>関係団体等と連携し、4品種の原種管理を徹底するなど品質の向上に努める。</li> <li>つくば芝の普及促進 公共工事や公共施設における普及の要望</li> <li>販売拡大 農産物フェアへの出店 チラシの配布、HPでの紹介</li> </ul>					市を代表する4品種（つくばグリーン、つくば姫、つくば太郎、つくば輝）及び在来種について、市役所庁舎芝生広場において、市職員及び来庁者にPRした。					
成果					課題					
つくば芝振興協議会と連携し、4品種の原種管理を徹底したことにより高い品質を維持することができた。					つくば芝普及に繋がるPR活動を継続的に行い、知名度を向上させていく必要がある。					
改善目標（R02年度にむけて）										
公共工事や公共施設において、つくば芝がより多く使用されるよう内部部局や芝組合等と連携していくとともに、継続的につくば芝のPRを行う。										
指標の推移										
1	指標名	PRイベント出展回数					( 回 )		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	3.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0		
	実績	1.0	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	0.0		
	指標の概要									
2	指標名						( )			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移							
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)	
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0	
	県支出金	(千円)	0	0	0	0	
	地方債	(千円)	0	0	0	0	
	その他	(千円)	0	0	0	0	
	一般財源	(千円)	900	900	900	900	0
事業費計		(千円)	900	900	900	900	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.30	0.30			
		時間外勤務 (時間)	20.00	5.00			
	臨時職員等	(有無)	無	無			
人件費		(千円)	2,168	2,048			
事業コスト		(千円)	3,068	2,948			

R02年度当初積算根拠	茨城県つくば芝振興協議会に対し、総事業費の2/3以内で900千円を上限を補助 900,000円×1件						
-------------	---	--	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

# 令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	439 農業経営対策事業（担い手育成総合支援事業）									
戦略プラン	IV	1	2	農業の振興	担当部課 係名	経済部農業政策課 農業政策係				
総合戦略					新規・継続	継続				
					事業分類	任意的事務				
予算科目	01-060108-11 農業経営対策に要する経費				市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解				
要求区分	事業期間					<input type="checkbox"/> 企画・立案、計画				
個別計画	農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想					<input type="checkbox"/> 実行				
根拠法令						<input type="checkbox"/> 評価・検証				
					事業体制	職員のみ				
					市長公約	60				
概要										
事業の目的					事業の概要					
農業従事者の高齢化による担い手不足を解消し、地域農業の活性化を図るため。					<ul style="list-style-type: none"> <li>新規就農者の育成を図るため、つくば市農業次世代人材投資資金事業を実施する。</li> <li>新規就農（希望）者に対し、つくば地域農業改良普及センター（県）と協力し、就農相談を行う。</li> <li>つくば市担い手育成総合支援協議会を開催し、担い手の支援を行う。</li> <li>農業用機械等を導入する際、補助金を交付する経営体育成支援事業を実施する。</li> </ul>					
評価										
事業計画					活動実績					
<ul style="list-style-type: none"> <li>つくば市担い手育成総合支援協議会 年4回開催</li> <li>認定農業者や新規就農者の農業経営改善計画作成支援相談会及び随時相談の実施</li> <li>国等の補助事業を積極的に活用するため適切な情報提供を行う。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>つくば市担い手育成総合支援協議会 3回開催（6月24日、10月21日、2月7日）</li> <li>農業経営改善計画作成支援相談会 3回開催（6月11日、10月1日、1月22日）</li> <li>農業経営改善計画認定数 新規認定（34経営体）、更新・変更認定（38経営体）</li> <li>農業次世代人材投資資金を30名に交付</li> </ul>					
成果					課題					
農業次世代人材投資資金を30名に交付し、資金を確保することで、新規就農者の確保ができた。					農業従事者の高齢化による担い手不足を解消するため、後継者や新規参入者等の人材確保が必要である。					
改善目標（R02年度にむけて）										
新規就農希望者に対して、相談会や随時相談時に適切な情報提供等の就農支援を行うことで、担い手を確保する。										
指標の推移										
1	指標名	認定農業者数						( 人 )		活動指標
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	227.0	230.0	233.0	236.0	239.0	242.0	245.0		
	実績	219.0	217.0	210.0	248.0	275.0	298.0	0.0		
	指標の概要									
2	指標名	新規就農者数						( 人 )		活動指標
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	41.0	44.0	47.0	49.0	51.0	53.0	0.0		
	実績	41.0	46.0	51.0	62.0	68.0	72.0	0.0		
	指標の概要									

	指標の概要	農業次世代人材投資資金交付者数+新規就農者経営支援補助金交付者数 累計						
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	174,735	43,586	60,000	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	3,662	2,769	443	0
事業費計		(千円)	178,397	46,355	60,443	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	1.70	1.00		
		時間外勤務 (時間)	300.00	30.00		
	臨時職員等	(有無)	有	無		
人件費		(千円)	12,742	6,857		
事業コスト		(千円)	191,139	53,212		

R02年度当初積算根拠	◆担い手育成・確保 (つくば市担い手育成総合支援協議会の開催など)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報償費： 担い手協議会委員報償金： 6,000円×14人×4回=336,000円</li> <li>・需用費： 協議会時お茶代： 100円×14人×1.10×4回=6,160円</li> <li>担い手農家啓発用リーフレット代： 100円×100部=10,000円</li> <li>就農支援チラシ印刷代： 6.0円×5,000部×1.10=33,000円 計49,160円</li> <li>・役務費： 認定農業者現況調査郵便料： 84円×230人×3回=57,960円</li> </ul>
	◆担い手に対する補助事業 【補助金合計：60,000千円】
	①経営体育成支援事業 (国補：3/10)
	経営発展を目指す農業者の育成を図るため、農業用機械や施設の導入を支援する。
	・融資主体型分 (国補)： 事業費10,000千円×10経営体×3/10 (補助率) =30,000千円
	②担い手確保・経営強化支援制度 (国補：1/2)
	・融資主体型分 (国補)： 事業費20,000千円×3経営体×1/2 (補助率) =30,000千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	5	当初の計画を上回る進捗で事業を実施することができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	3	他の事業に優先して進める必要がある。
事業の優先度はどうか		





	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	1,000	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	346	125	371	0
事業費計		(千円)	1,346	125	371	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.50	0.70		
		時間外勤務 (時間)	50.00	50.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	3,654	4,872		
事業コスト		(千円)	5,000	4,997		

R02年度当初積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> <li>・需用費 87千円</li> <li>・役務費 84千円</li> <li>・負担金補助及び交付金 200千円</li> </ul>					

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		